

F-net 大井川  
令和6年度 モニタリング結果報告書

作成: 令和7年8月8日

1 実施数

	地拵え・植林	下刈り、つる切、枝打ち	除間伐	伐採・搬出	作業路網整備	定点観察
箇所数	6	3	0	2	2	9

2 所見

1) グループ統括

「森林作業共通仕様書」に基づき、適切な森林管理がなされていることをチェックリストで確認した。

2) 定点観測

保護区、保全地帯、または特に環境変化の観察が必要と認める箇所について定点観察を行っているところであり、森林管理活動に由来する山腹崩壊や外来種の拡大は観察されなかった。令和4年度の台風被害による林道の不通で長らく観測できなかった箇所も確認することができた。

3) 野生動植物生息状況

作業日誌等では希少動植物の生息に係る報告は見られなかった。シカによる植栽や下層植生の食害が管内各地で報告されている。平成30年の再造林地(定点観測 No. 14)へ5年ぶりに訪問できたがツリーシェルターのほか漁網や高さ60cm程度の網でも食害を免れうることを確認した。

本年に限らずKY活動でのダニ・蜂への注意喚起が多くみられ、県内で重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の死亡例が出たことから、労働者の安全に引き続き留意する。

4) 森林管理により影響を受ける者との協議

森林組合の地区総代会、地区運営委員会で山林所有者から意見を聞く機会を設けた。山と関わる人が減っていることへの危機感や、林道修復の要望等があった(別紙「令和6年度活動報告」参照)。令和6年度島田市委託事業の一環で、森林施策に対する意見を林業事業体から聴取した。

5) 森林認証面積、資源量、成長量 (グループ全体)

森林認証面積 3,238.39 ha (令和7年3月31日時点)

資源量(総材積) 1,217.66 m<sup>3</sup>

成長量 17,519 m<sup>3</sup>